

米国アカデミー賞公認アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジアによる

日本で唯一の国際的なブランデッドムービーの祭典 第10回 BRANDED SHORTS 作品公募開始

「広告のように目的をもちながら、映画のように豊かな関係を目指す。」

10周年に向け、BRANDED SHORTS 2024 審査員長の
高崎卓馬氏（『PERFECT DAYS』）よりステートメントも発表

HR・人事・採用の視点で発信する「HR 部門」

全国の観光 PR 映像を対象とする「第14回観光映像大賞」も同時募集

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）」が展開する、日本で唯一の国際的なブランディング映像部門 BRANDED SHORTS では、2024年8月1日（木）より、2025年の開催に向けた作品募集を開始いたします。

URL <https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/branded-shortts>



2016年に映画祭が設立したBRANDED SHORTSは2025年に10周年を迎えます。企業や団体による、「広告」という枠を超えた、自らの社会的価値（生活者へのサービスやプロダクト、体験の訴求）を伝えることを目的とした生活者との新しいコミュニケーション、「シネマチックコミュニケーション」が発展してきた中で、映画祭はそれらをブランデッドムービーと定義づけ、8つの視

点（必然性、認識変化力、シェアブル、メッセージカ、視聴維持力、オリジナリティ、時代性、視聴後の想起力）で選定しています。

公募期間中は、最終ノミネートにつながるショートリストを発表し、2025年の映画祭に向けて、広告・映画業界など多彩な業界から審査員を迎え、最も優れたブランデッドムービーを「Branded Shorts of the Year」を選考・表彰いたします。

また、2022年からスタートしたHR部門では、ブランデッドムービーの中でも人材採用に繋がるブランディングの観点で「パーパス」、「企業の魅力・カルチャー」、「メッセージ」、「視聴維持」、「オリジナリティ」、「視聴後の想起」を審査基準に、エンゲージメント性の高い映像作品を募集し、表彰します。

さらに、第14回観光映像大賞では、全国47都道府県を対象に“観光振興”という観点を持つ作品を募集いたします。

来年10周年を迎えるBRANDED SHORTSに向け、歴代審査員を務めてきた高崎卓馬さんより、BRANDED SHORTSについてのステートメントも到着。映画祭が探求する「広告の新しい形」とはー。2025年の映画祭に向け、新たな可能性にチャレンジするBRANDED SHORTS作品をお待ちしています！

BRANDED SHORTS とは？

BRANDED SHORTS

企業発の短編をそう呼びはじめて、10年がたった。

インターネットがもたらしたコマーシャル以外の映像の可能性は、この10年の試行錯誤のあと、ひとつの明確な答えをもったように思う。

広告は100人がそれと出会ったとき、

100人がみな同じ情報を誤差なく受け取ることを目指す。

それが強いクリエイティブとずっとされてきた。

同じ映像でも、映画は観る人によって違う感想をもつ。

そしてそれが多様になればなるほど豊かなものと言われる。

BRANDED SHORTS はこのふたつのハイブリッドだ。

広告のように目的をもちながら、

映画のように豊かな関係を目指す。

広告の形をしていながら、多様な感想を受け入れる。

観るたびに違っていい。

どんな感想が生まれてもいい。

そこから議論が深まればいい。

こんな広告は今まではありえなかった。

そしてもうひとつ、

BRANDED SHORTS は自由な条件でつくられる。

時間、構成、設定などあらゆる要素を駆使して、

企業は自分たちの色を伝えることが可能になる。

自由をどう料理するか。

そこに企業や団体の人格がきれいに反映される（されてしまう）

BRANDED SHORTS

これは広告の新しい可能性だ。

BRANDED SHORTS 2024 審査員長

高崎卓馬

<BRANDED SHORTS 2025 募集要項>

- 募集期間：2024年8月1日（木）14：00より開始 ※応募締切は2025年2月末
 - 応募方法・応募に関する詳細：BRANDED SHORTS 2025 添付および作品募集ページを参照
 - 発表方法：2024年10月～2025年4月初旬まで、各月の応募作品の中から選出したショートリストをウェブサイトにて発表。最終ノミネートとなる上映作品は2025年4月末までに発表予定
 - 応募に関する問い合わせ先：entry@brandedshorts.jp
- URL <https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts/branded-short>

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、世界のショートフィルムの祭典へと発展。2004年には米国アカデミー賞公認映画祭に認定され、同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生しました。現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

また、2018年には映画祭20周年を記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となり、翌1月には、20周年記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」も開催しました。

2019年の映画祭からは、アカデミー賞推薦枠がインターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品へと拡大し、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 press@shortshorts.org

画像のダウンロード

<https://drive.google.com/drive/folders/1T7F8v3ZfZQLdEHKo2m1bZPZJCvYARYAD?usp=sharing>